

奉仕の基盤を築く



Lions Clubs International
FOUNDATION

2015-2016年度年次報告書

理事長からのメッセージ

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) の理事長を務めさせていただいた1年間、私は、奉仕に全身全霊をささげているライオンズの姿を見るという栄誉にあずかりました。日々皆さんには驚嘆させられるばかりです。奉仕への皆さんの熱心さは賞賛に値するものであり、ライオンズ、そして世界中の人々とこうして皆さんのストーリーを共有できることを誇らしく思います。

この一年を振り返ってみて私は感謝の気持ちでいっぱいです。LCIF理事長を務めてみて、感謝すべきことが本当にたくさんあることが改めてわかりました。この場をお借りしまして、皆さんお一人おひとりに心より感謝の意を表したいと存じます。

ライオンズの皆さん、今年度工夫を凝らし意義ある奉仕をしてくださり、ありがとうございます。皆さんは、それぞれの地域に足を踏み出すとき「われわれは奉仕する」ことを世界に示してくださっており、地元だけでなく全世界で奉仕する必要があることを理解し、LCIFが皆さんの奉仕が届く範囲を広げるお手伝いをするをよくご存知です。LCIFがこれを実現できるのも、ひとえに、奉仕に対する皆さんの限りのない献身のおかげなのです。

LCIF理事会、複合地区および地区LCIFコーディネーター、地区ガバナー、そしてLCIF推進にご協力くださったすべての方々に心より感謝申し上げます。今年度LCIFの支援に対する意識を高め寄付を増やすことにご尽力くださいました。

また、LCIFがパートナーを組んでいる多数の素晴らしい組織にも感謝の意を表します。私たちは力を合わせ、世界をあらゆる人々のためにいっそう明るく安全な場所、より平和な場所にしようと尽くしています。こうした協力関係があるからこそ、私たちはさらにより多くの人々に援助の手を差し伸べられるのであり、このことを私はひとしお有難く感じております。

この年次報告書を読まれるにあたり、この一年のことを振り返り、皆さんが行ってくださっていることはLCIFの取り組みにとって不可欠であるのだと、誇りをもっていいただければ幸いです。皆さんの確固たる決意があるからこそ、強いインパクトをもたらすこうした事業が、来る日も来る日も世界中で人々の暮らしを変えているのです。

この1年、理事長を務めさせていただいたことに心よりお礼申し上げます。皆さん、そして世界一素晴らしい財団であるLCIFの代表を務めさせていただいたことを大変光栄に思います。

Joe Preston

2015-2016年度 LCIF理事長
ジョー・プレストン

表紙：バリアフリー対応のカヤック乗り場から湖へと
漕ぎ出すジャレッド・ブラウン。LCIF一般援助交付金と
米国ペンシルベニア州の
ケンプトン・ライオンズクラブの支援で
実施された事業。



LCIFの使命

人道奉仕事業をおこない地域と世界に希望をもたらすライオンズとそのパートナーの取り組みを交付金を通じて支援すること。



2015-2016年度、ライオンズ、そのパートナー、
そして友人がLCIFに寄せた寄付は3,948万ドル。

LCIFは453件、総額4,520万ドルを超える交付金を提供。

**奉仕へのご尽力、
感謝いたします！**

LCIFの主要目標

投資とインパクト 2015-2016年度

地域社会の改善



教育、ヘルスケア、その他の重要な公共サービスの向上に向けたライオンズの取り組みを支援するため13,874,392ドルを交付。自らの地域社会や他のライオンズの地域社会において3,994,860人の人々がその受益者。4ページを参照。

青少年支援



19の国と地域におけるライオンズクエスト・プログラムの実施・拡大のために1,437,287ドルを交付。これにより50万人以上の子供たちにプラスの効果がもたらされている。6ページを参照。

災害援助



天災による被災者約50万人に緊急援助を提供すると共に地域の防災準備や他の災害からの復興援助をするライオンズとパートナーを支援するため、9,480,060ドルを交付。8ページを参照。

はしかの根絶



はしか・風疹イニシアチブおよびGAVIワクチンアライアンスを通じ、13カ国において17,400,000人の子供たちの予防接種を支援するとともに、社会への呼びかけとアドボカシーに取り組むライオンズを支援するため、7,965,350ドルを交付。10ページを参照。

視力保護



眼科医療を届け、51の眼科医療施設を改善し、23,643人の眼科医療専門家の研修を行うために12,994,255ドルを交付。その受益者は22,300,000人。12ページを参照。



地域社会を改善

LCIFはその人道奉仕援助交付金を通してマッチング資金を提供し、各地域社会で不可欠な公共サービス機関やプログラムの改善に取り組むライオンズを支援しています。

ジャマイカで障壁を取り除く

LCIFが地域社会を改善する独特な方法のひとつは、スペシャルオリンピックスと協力して取り組むことです。「オープニングアイズ」では知的障害者に視力検査やメガネを提供。また、「ミッション・インクルージョン」では、アスリートにリーダーシップを発揮する機会だけでなく、社会参加や健康増進の機会をもたらします。

ジャマイカのレオはこの取り組みに積極的に関与し、地元の奉仕事業にスペシャルオリンピックスのアスリートに参加させることで、取り組みを広げています。「アスリートに声をかける」イニシアチブの一環としてジャマイカのレオは差別や偏見等の障壁を取り除き、エンパワーメントと融合の機会をもたらしています。

レオはそのリーダーシップとビジョンを通じて、アスリートに対する考え方を、奉仕の対象から奉仕の担い手に変える手助けをしてきました。レオの働きかけのおかげで、単に慈善の対象だったグループが、地域においても国レベルにおいても積極的に奉仕をする、等しく貴重な存在になっています。

スペシャルオリンピックスとライオンズクラブ国際協会は、知的障害者が地域のために役立たいと願っている才能や能力を持っていることを示すために尽くし続けます。競技場の内外を問わず、スペシャルオリンピックスのアスリートとレオは共生社会の構築に向け、引き続きチームを組んでビーチの清掃やバスケットボール試合にひとつずつ臨んでいきます。



「レオには世界を変えるチャンスがあります。大人になってからではなく、今すぐ変えられるのです。そしてそれは例えば、いつもは仲間外れにされるような子と一緒にスポーツをして、居場所を感じさせてあげる、というような簡単なことです。それが、とても大きな、力のある贈り物となるのです。」

■ティム・シュライバー スペシャルオリンピックス会長

南スーダンで教育を

南スーダンの人口の半分は国際貧困ライン(1日2ドル未満)を下回る暮らしをしています。南スーダンの女性の90%は読み書きができず、この国の公用語である英語を話せる人もごくわずかしきません。ユニセフの調査により、母親の教育とその子供の健康には強い関係があることがわかっています。南スーダンは、妊婦の死亡率が世界で最も高く、また女子の識字率については最も低いのが現状です。LCIFは四大交付金を提供することにより、毎週1,000人を超える女兒や女性に読み書きを教え、またその指導に当たる教師の研修を行う「リテラシー・アット・ザ・ウェル(井戸での読み書き学習)」という事業を支援。警察官や医療従事者もクラスに通っています。



～故人を 偲んで～

1949～2016年



アブハイ・オズワル氏は、インドだけでなく世界中の人々の暮らしの改善に非常に献身的に取り組んだライオン。オズワル氏は生前、皆が人類のために何か役立つことを、世界をより良い場所に変えるための何かをしなければいけないと信じていました。同ライオンのLCIFに対する限りない支援が、長年にわたり奉仕を拡大することに役立っています。そのレガシーは後世に語り継がれることでしょう。オズワル家はインド、日本、韓国における三つの事業を含め、特別なプロジェクトへの資金援助を行うことを約束してくださいました。オズワル家は世界規模で社会を向上させることに献身しています。

ケニアで人生を変える

LCIFとライオンズは貧困削減に取り組んでいます。マイクロエンタープライズ・プログラムを通じて、起業に必要な資材や機器を購入できるよう、個人に小口融資が行われています。こうして事業を立ち上げた個人は、自立し家族を養えるようになるだけでなく、その地域にも貢献できるようになります。マイクロエンタープライズは、貧困レベル以下の生活をしており、限られたスキルを生かして経済状況を改善したいと願う男女の経済的な自立を応援・促進する重要な機会であると、LCIFは確信しています。

ケニア411-A地区のライオンズは、地元の金融機関ASAケニアとの協力の下、キベラ周辺の女性を支援するためにLCIFからマイクロエンタープライズ向け交付金を確保。このプログラムは女性が家族の世話をするだけでなく、自分たちが将来も自立した状態を保てるようにしています。ASAケニアは、従来の信用貸付を利用することのできない人々に小口融資を行う非営利組織です。



カンボジアで教育と安全な水を提供

韓国の356-F地区ライオンズが、LCIFから3万ドルの一般援助交付金を受給。カンボジアのシェムリアップ州チャンスピン村にある小学校は増築を急務としていました。学校には200人を超える生徒たちを収容するには十分なスペースが無く、ライオンズは、そうした環境ではきちんと学習できないと感じました。そこで、韓国のライオンズはカンボジアに出掛け、新しい校舎を建てたのです。ライオンズは更に、学校の生徒や村全体の人々に安全な水を提供するために井戸も設置しました。この事業は、年間200人以上の生徒、500人以上の地域住民に恩恵をもたらすと見込まれています。356-F地区のライオンズは、地元のシェムリアップ・アンコールワット・ライオンズクラブと共に、今後必要とされる支援を提供していきます。



「新しくなった学校でより多くの子供たちが必要な教育を受け、カンボジアを更に発展させる優れた市民に成長してくれることを願っています。そして新しく設けた給水システムで地域の人々がより健康な生活を送れるようになり、ゆくゆくは社会に還元できるようにになればと思います。」

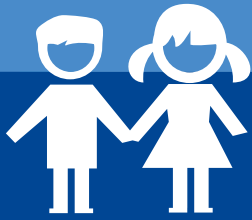
■韓国の元地区ガバナー サジョー・チュン



トルコで基本的なニーズを満たす

LCIFは6万ドルの難民支援交付金を118-R地区（トルコ）のライオンズに支給しました。合計54のライオンズクラブが協力し合い、2千個のリュックサックを購入して毛布、肌着、タオル、洗面具、ボトル入り飲料水のほか数多くの必需品を詰め込みました。男女兼用のリュックサックはライオンズ自らの手で詰め込まれてからトルコの沿岸警備隊に渡され、警備隊から海上で救出された難民に配られました。難民はごくわずかなものしか持たずに逃れてくる上、救出されたときには大概その持ち物も失ってしまっています。リュックサックは、救出されトルコに連れて行かれた難民の差し迫ったニーズに対応するために使われました。

2015～2016年度末までにLCIFは難民を支援するための種々事業のために60万ドル近くを交付。トルコのライオンズは難民支援に極めて強い献身の意を示してきており、基本的な必需品だけでなく、カウンセリングや、司法サービス、教育、娯楽活動等も提供しています。他の多くの国のライオンズも、難民が一番必要としている物品やサービスを提供しようと熱心に取り組んでいます。



青少年支援

LCIFのライオンズクエスト・プログラムは幼稚園児から高校3年生を対象に、人格形成教育、いじめ防止教育、薬害教育、サービスラーニング学習等を提供するものです。

LIONS QUEST



社会性と情動の学習（SEL）であるライオンズクエスト・プログラムは、思いやりのある安全で管理の行き届いた参加型学習環境を促進し、生徒たちが健康で責任ある人生を歩めるよう、建設的に感情と向き合い、責任ある意思決定をし、前向きな目標を定めるスキルを身につけさせてくれるものです。ライオンズクエストの授業を行うための研修を受けた教育者は60万人以上になり、96カ国1,400万人余りの生徒に影響を及ぼしています。

フィンランドで成績上昇

ライオンズクエストの成功のカギは、地域のライオンズの関与です。フィンランドのライオンズは過去20年以上に渡り、ライオンズクエストの支援と発展に向け600万ドル以上を調達しています。フィンランド政府は107複合地区のプログラムを児童教育課程の先駆けと認め、教師研修ワークショップ実施用に教育省から107複合地区に助成金を交付しました。

また、フィンランドのライオンズは、ライオンズクエストを拡大し、一般的なクラスでの取り組みだけでなく、青少年のスポーツにも焦点をあてています。教師と同様の方法で研修を受けたコーチたちはスポーツを通して、スポーツマンシップやチームワーク、更には対立の解消を促します。

フィンランドのライオンズは、SELに関するリサーチにおいて世界的なリーダーになりました。ヘルシンキ大学との連携で、107複合地区が調査を行ったところ、ライオンズクエスト研修が、生徒の社会・情動対処スキル育成に当たる教師の能力強化に効果的であることが分かりました。そしてこの調査結果は、「European Journal of Social and Behavioural Sciences」誌に掲載されたのです。

フィンランドのライオンズ・リーダーたちは、国内各地のライオンズと共にライオンズクエストに取り組み、ライオンズが目標に全力を注ぐことで得られる成果の模範を示しています。



「スポーツは、他者を思いやり配慮する市民を育てる素晴らしい機会を与えてくれます。ライオンズクエストこそ、こうした目標を目指して取り組む私たちを助けてくれるものであり、コーチをサポートするのに欠かせないプログラムです。」

■ヤニ・コムライネン
フィンランドのプロ野球選手、
U20アイスホッケーチームの
ジュニアコーチ

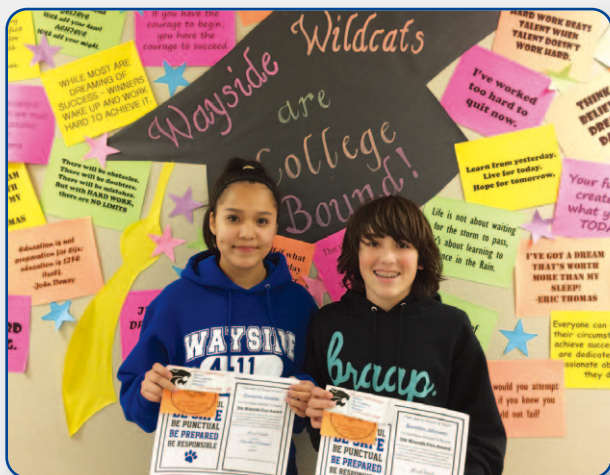
セルビアでも成果が

LCIFは現在国連薬物犯罪事務所（UNODC）と協力し、セルビアで試験的なプロジェクトを行っています。UNODCは、薬物乱用予防の指針を作成・共有するだけでなく、家族と学校を拠点とした予防研修実施などを含む、世界的な薬物乱用予防プログラムを設けています。ライオンズクエストはUNODCにとって、学校を拠点とする予防取り組みにおける最初のパートナーです。

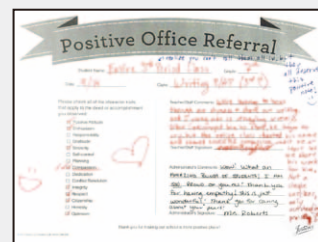
民間非営利団体としてこのプロジェクトに資金を提供したのはLCIFが初めてで、セルビアでのコラボレーションを開始するため10万ドルを交付。プロジェクトは現在進行中で、これまでに75人以上の教師が研修を受けて、1,800人を超える生徒を対象にプログラムを行っています。このプロジェクトはライオンズクエストにとってはもちろんのこと、

薬物乱用に取り組んでいるグローバルコミュニティにとっても重要です。ライオンズは、ライオンズクエストの教育課程が若者に前向きな社会性を身に付けるスキルを習得させ、薬物乱用防止に効果があることを知っています。セルビアでのこのプロジェクトは、地域のボランティアが力を合わせればどのようなインパクトをもたらし得るかを世界に示す良い機会です。このプログラムの大成功を受けて、1月にはライオンズクエスト諮問委員会が25万ドルを承認し、マケドニア（FYROM）とモンテネグロへのプログラム拡張に向け追加の資金援助をすることになりました。

思いやりの大切さを教えるライオンズクエスト



悪いことをした生徒を教師が校長室に行かせるのは珍しいことではありません。しかし、教師が、立派な行動をとった生徒のことを校長に伝えるというのは普通あることではありません。しかも、良い行動をしたからといって中学校のクラスの生徒全員を校長室に行かせることなど滅多にないでしょう。リア・ロバーツ先生はこの滅多にないことを、作文の授業を受けていた中学1年の生徒たちにしました。



「恥ずかしいという気持ち乗り越え、それぞれの作文を発表するという授業をしていたのですが、それがなかなかできず苦勞していた男子生徒が一人いたんです。発表するように励ましたところ、泣き出してしまいました。でも、クラスの全員がこの生徒の名前を呼び声援を送ったんです。そしたら、やっと自分の作文を私に代読させてくれました。読み終えたときに笑い声を立てる生徒は一人もおらず、褒め称える声だけが教室に広がっていました。」

ロバーツ先生は、ライオンズクエストが生徒のモチベーションを高め、誠意、互いを尊重する気持ち、積極的な社会参加、そして何よりも思いやりの精神を育てていると確信しています。

広がり続けるライオンズクエスト

ノボ財団から30万ドルの支援を得て、ライオンズクエストのカリキュラムと研修資料が一新されました。この共同プロジェクトの一環として、米国テキサス州フォートワースのイーグルマウンテン・サギノー独立学区においてライオンズクエスト・プログラムの大規模な導入も開始。この学区は新たに一新されたカリキュラムの導入実施対象のひとつとなったのです。ノボ財団との協力で現在行われている取り組みにはプログラムの有効性の科学的評価も含まれており、SELリサーチと実施の分野におけるリーダーとしてのライオンズクエストとLCIFの位置づけをさらに確固たるものにしています。



「僕はこの授業が好き。それは、ティーンエイジャーになったらどう対処すればいいか、どう振舞えばいいのか、何をすべきかなど、たくさんのことを教えてくれるからです。」

■ルカ・ベキッチ

(セルビアでライオンズクエストの授業を受けている4年生)



災害に対する支援

LCIFの緊急援助金プログラムは、災害対応と復興活動に取り組むライオンズと他のパートナーに資金援助を提供するものです。大災害援助交付金は、額の大きい資金を提供することで、国際的に大規模な影響を及ぼした大災害に対し支援をするものです。防災準備交付金は、将来災害が起こった場合に備え計画をする地区をサポートするものであり、また、地域復興援助交付金は、援助が必要とされているのに満たされていない地域の特定のニーズにライオンズが取り組めるようにするものです。

自然災害はところかまわず世界中で発生し、家族や地域全体に大きな打撃を与えます。自然災害が襲ったとき、自らもその被害者であるような時でさえ、隣人を助けるために真っ先に現場に駆けつけるのも多くの場合ライオンズです。人助けへのこうした献身こそが、ライオンであるとはどういうことかを示しているのです。

パラグアイで教育を続けられるように

2015年12月にパラグアイで壊滅的な洪水が起こったとき、13万以上の人々が住む場所を失いました。救援隊や援助物資が次々と押し寄せる中、LCIFは20万ドルの大災害援助交付金を提供。その交付金の一部は、洪水の影響を受けた17,000人の生徒たちが勉強を続けられるよう移



動教室を設けるために使用されました。ユニセフとの協力の下、教育省はLCIFの支援を受けてこうした移動教室を七つ設けました。頑丈な資材で作られている移動教室は、外気温より約5℃低い温度に保たれるように設計されています。各教室で50人の生徒が勉強出来るようになりました。

西太平洋地域で救援を

2015年7月末/8月上旬、台風13号が西太平洋地域に壊滅的な打撃を与え、多くの命を奪いました。何百万という人々が水や電気などのライフラインを絶たれ、住む家を失いました。台風はこの地域のいたるところに大雨・強風・洪水・地滑りなどの災害を引き起こしたのです。LCIFはただちに緊急援助交付金1万ドルを拠出。204地区ミクロネシアのライオンズはサイパンでの救助活動に取り組みました。また、300複合地区・台湾に対し、大災害援助交付金20万ドルを支給。緊急援助物資の購入や長期的な再建計画への資金として利用されました。

「共同でのこの取り組みに感謝しています。おかげで、住居や学校を失ってしまった地域の困難な状況への解決策が見つかりました。」

■マルタ・ラフエンテ
パラグアイ教育省



エクアドルで復旧に取り組む

2016年4月16日、マグニチュード7.8の地震がエクアドルの沿岸北部に甚大な被害を与えました。700人近くの死者と2万7千人以上の負傷者を出したのです。地震発生後LCIFは15万ドルの大災害援助交付金を支給し、緊急援助と長期的な援助、そして復旧活動を支援。ライオンズは最も困窮している人々への食べ物・飲み水・毛布・衣類の配付に尽くしました。また、地域で募金活動を行い、出来るだけすばやく救援物資を収集・配付。ライオンズは、最も大きな打撃を受けたチョーネ市、ヤマ市、ペデルナレス市に42軒の住居を建設する予定です。



「誰かを笑顔に出来たら、 とてもうれしいです。」

■ ジューン・フィリップス 米国のライオン



「ライオンズは会合や目の検査などをするだけだと思っていましたが、被災地にも出向き奉仕する人たちだとわかりました。感謝の気持ちでいっぱいです。」

■ ウィル・ケチケメシー
ライオンズの支援を受けた米国の被災者

斬新的な方法で援助をする方法を見つけ出す

ライオンズは地域とつながり、緊急支援の必要が満たされた後もずっと積極的に支援活動を続けています。地域復興交付金は、他の団体によって緊急のニーズがすでに対応済みといった場合に、短期の清掃・修復活動を支援するために、2万ドルを上限に交付されます。その目的は、地域社会内で行われた救援活動に格差があり、満たされていない具体的なニーズを持つ特定の集団が認められた場合に、ライオンズがそうした集団を集中的に支援できるようにすることです。

2016年3月に発生した電を伴う嵐により、ブラジル南部の活気にあふれた都市の病院の屋根が破損しました。その結果、雨漏りで病院の外科手術器具の大半が破損。LD-6地区ライオンズは2万ドルの地域復興交付金を利用して、破損した麻酔機器、バイタルサインモニター、手術用ランプ、その他の手術用機器を取り替えました。





はしかの根絶



**ONE SHOT
ONE LIFE**
Lions Measles Initiative

LCIFは資金援助とボランティア支援によって、はしかの予防接種が最も必要とされている地域で接種の機会を拡大することで、世界中ではしかの犠牲者を減らす努力をしています。

「ワン・ショット、ワン・ライフ（1回の予防接種が救うひとつの命）：ライオンズはしかイニシアチブ」を通じてライオンズは、はしか根絶に向けた国際的な取り組みにおいて不可欠な役割を果たしています。2013年、ワクチンが最も必要とされている地域の数百万という児童をはしかから守るため、LCIFはGAVIワクチンアライアンスとパートナーシップを結びました。2015～2016年度までにLCIFは、GAVIに約束した3千万ドルのうち1,750万ドルを提供。ライオンズは、はしか・風疹イニシアチブやGAVIと力を合わせ、社会への呼びかけとアドボカシーを通じてはしか根絶キャンペーンとはしか・風疹撲滅キャンペーンを支援してきました。GAVIに提供されたLCIFの資金に対して、英国国際開発省とビル&メリンダ・ゲイツ財団から同額のマッチング資金が拠出されるため、総額は6,000万ドルになります。ライオンズとLCIFは、2017年末までにはしかと闘うために総額8,500万ドル以上を動員すると見込まれています。

世界保健機関（WHO）によると、はしかに起因する死亡者数は2001年から71%減少。GAVIワクチンアライアンスと共にライオンズクラブはこうした減少を後押しするため、はしか・風疹イニシアチブの取り組みに協力しています。十分な数の子供たちに予防接種を受けさせないと、はしかが大流行する事態を招く危険があることが、最近の経験でわかっています。GAVIの2016～2020年のはしか・風疹予防対策では、定期予防接種へのアクセスを増やし接種の届く範囲を広げるほか、予防接種を呼びかけるキャンペーンの質の改善に重点的に取り組みます。2020年までに、49カ国の7億人余りの子供たちがはしかと風疹の予防接種を受けるものと見込まれています。

ケニアで意識啓発を

世界予防接種週間の一環であるアフリカ予防接種週間を開始するためにチャニアフォルズとキリマンボゴのライオンズがティカタウンに集合。ライオンズはLCIFからの交付金11万5千ドルを、はしか・風疹キャンペーンが行われるまでとその期間中、アドボカシーと社会への呼びかけのために活用しました。キャンペーンの巡回説明会をケニア中部全域1,000kmあまりにわたって行い、予防接種の重要性についてこの地域の人々の意識を啓発すると共に、予定されている予防接種実施キャンペーンについて知らせたのです。また、このGAVI後援のはしか・風疹キャンペーン実施中、生後9か月から14歳の子供たち1,800万人への予防接種にも協力しました。



ジンバブエの家族を守る

2015年9月にLCIF、ジンバブエのライオンズ、そしてGAVIはジンバブエの保健・児童福祉省と協力してキャッチアップ・キャンペーンを5日間行い、520万人の子供たちにはしか・風疹のワクチンとビタミンAを投与しました。保健・児童福祉省がキャンペーンをコーディネートし、GAVIが数百万人分ものワクチンとビタミン剤を提供。ライオンズは街頭へと繰り出し、ボランティアを動員し接種キャンペーンについて情報を流しました。

LCIFからの交付金10万ドルを活用して、ジンバブエのライオンズは、飛行機や路上で、さらには携帯電話でも、くまなくキャンペーンについての念押しをする広告を展開しました。テレビやラジオのない家庭への情報伝達には、ライオンズとレオがチームを組んで、市場や人が集まるその他の場を回ってチラシを配りました。



社会動員とは?▶



「新聞に載っていた広告を見て、親として、わが子にはしかの予防接種を必ず受けさせないといけないと思いました。家からはほんの目と鼻の先だったし、しかも無料だったので、とっても助かりました。素晴らしい支援です。」

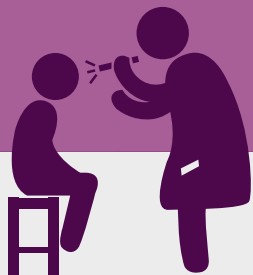
■ジンバブエでのキャンペーン中に予防接種を受けた子供たちの親

ライオンズは、社会動員という形ではしかと風疹との闘いにおいて最も大きな貢献をしていると言えるでしょう。社会動員とは、ライオンズが非常に得意とする一種のアドボカシーです。

世界中でライオンズは、はしかのまん延を食い止めるために現場で積極的に取り組んでいます。ライオンズは地域のことをわかっており、それゆえにこうした地域にインパクトを与えるにはどうすればいいかも知っています。地元でライオンズは社会動員やアドボカシーに積極的に携わり、はしかの恐ろしさとワクチンの効果について地域の人々の認識を高めます。

ライオンズは民家を戸別訪問し、幼い子供をもつ親に話をして指導します。予防接種実施キャンペーンを宣伝するため、パレードを主催したり、ラジオ広告のスポットを購入しますし、自宅周辺を回って、ポスターを貼ったり、チラシを配ったりもします。また、予防接種の支持者数を増やし、パートナーと協力してどんなに遠く離れた奥地にさえも予防接種を届けるために、地方や国の役人、地域住民、聖職者に話をします。ライオンズは、ラジオ広告、テレビ討議、移動公共広告、街頭演劇をスポンサーしますし、キャンペーン開始を祝う催しを企画したり、予防接種が行われる会場でボランティアも務めます。

社会動員は、ライオンズにその地域内ではしかと風疹の撲滅にじかに取り組む機会を提供する活動であり、LCIFとGAVIのパートナーシップにおいて大切な要素です。



視力保護

ライオンズはさまざまな方法で視力を救います。LCIFは視力保護の取り組みを、視力ファーストのようなプログラムを通じてサポートします。視力ファーストは、ライオンズが、医療の十分行き届かない地域に包括的な眼科医療システムを構築して視力障害者がケアを受けられるよう手助けします。

トラコーマ根絶に向けて

LCIFは1999年以来カーター・センターと協力してトラコーマと闘ってきました。2015年にLCIFはカーター・センター、ファイザー社、国際トラコーマ・イニシアチブ、その他のパートナーと共に、一定の国々でトラコーマの治療薬として使用されている抗生物質ジズロマックス®(アジスロマイシン)の5億回目の投与を祝いました。これは、予防出来るにもかかわらず公衆衛生を脅かすこの眼病を2020年までに根絶するための世界的な取り組みにおける目覚ましい功績を示す節目です。



「LCIFとカーター・センターのパートナーシップは視力を奪うトラコーマとの闘いに勝つために不可欠です。このパートナーシップはトラコーマ予防のために大量のジズロマックス®(アジスロマイシン)を配布する草分けとしてだけでなく、2001年以後55万人余りが視力を救う手術を受けられるよう支援するなど、どういったことが実現可能かを示しています。おかげで55万人以上の人々が失明を免れたのです!このパートナーシップは団結して取り組めば前向きな変化をもたらせることを示す実例です。私たちは力を合わせより力強いパートナーとして、最も困っている人々のためにいっそう尽くすことが出来るのです。」

■ケリー・キャラハン カーター・センター トラコーマ抑制プログラム担当責任者

視力の贈り物

1959年、米国オレゴン州(36複合地区)のライオンズクラブは、州全域で視力および聴力支援を提供するためオレゴン・ライオンズ視力及び聴力財団(OLSHF)を設立。OLSHFはそのパートナーや医療機関とのネットワークを通じて、毎年7万5千人の人々に視力および聴力検査・治療、さらには手術を提供しています。視力ファースト交付金の支援を受け、OLSHFはアイケアを最も必要としている人々に援助の手を差し伸べ続けています。ジャッキーさんもその一人。「66歳になってやっと本当の眼鏡を手に入れました!一番うれしいプレゼントです!」とジャッキーさん。「助けてくださり、非常に感謝しています。」



エルサルバドルでは 児童の低視力の取り組み

エルサルバドルのD-2地区ライオンズが53,601ドルの視力ファースト交付金を受け、ベンジャミン・ブルーム国立小児専門病院の児童の低視力に対処するための国家プログラム拡張を支援。交付金は病院のインフラ整備と28人の眼科専門家の人材育成に役立ちました。これによりサービスが増え、最初の2年以内に新たに少なくとも225人の小児患者が診察を受けられるようになります。ライオンズは国際失明予防協会

(IAPB)による目の健康意識向上ワークショップに参加し、低視力についての啓発資料や視聴覚資料の作成と配布において補助的な役割を務めました。このプロジェクトの結果、低視力に対処するサービスを提供するため、検眼医となる学生の継続的な研修を促進することに、エルサルバドル大学医学部とこの国立小児専門病院が合意しました。





失明予防のためのリサーチを支援

視力ファースト・キャンペーンIIを通じて集められた資金を元に、視力ファーストは「すべての人に視力を」もたらすことを目指す新しい事業を支援することが出来ます。こうした事業には、目が不自由な人々のためのリハビリテーションや教育のほか、視力に関するリサーチの取り組みなどがあります。リサーチは、サービス提供や能力強化などの視力ファーストの従来の対応策とは異なりますが、こうした中核プログラムの活動を充実したものとし、世界中の失明予防に向けた取り組みを強化する可能性を秘めています。2015～2016年度、視力ファーストはリサーチ用に46万ドルを交付し、インドのハイデラバード大学での「モルジブと東チモールにおける回避可能な迅速評価」を含め、複数の研究を支援しました。



インドにおけるサービス提供を支援

323-G2地区のライオンズは、415,434ドルの交付金を受けてマドヤ・パラデシュにあるサドグル・ネトラ・チキツアラヤ眼科病院とサグドゥル・サンカルク・ネトラ・チキツアラヤ眼科病院を支援。この交付金は、糖尿病性網膜症を担当する科の診断や手術の能力を強化するため、人材育成、サービス提供、目の保健についての指導、インフラ整備のサポートに活用されています。これにより2年以内に18,750人の患者に恩恵がもたらされることになります。



カメルーンでは対応能力強化の取り組みが

1,148,905ドルの援助交付金が、カメルーンの中部および沿岸地域における試験的な総合眼科医療プロジェクトを支援するため、カメルーンのライオンズとアフリカのフランス語圏で失明予防と取り組んでいるフランスの非政府組織 (Organisation pour la Prévention de la Cécitéas) に支給されました。この交付金で、人材育成、インフラ整備、眼科医療提供の支援が行われており、750万人がこのプロジェクトの恩恵を受けると見込まれています。

「視力ファーストは、チェコ共和国プラハのライオンズ眼科教育センターから提供される教育プログラムを通じての知識と技能の協会において、最も大切なパートナーのひとつです。2002年以降、中央・東ヨーロッパの1,600人の眼科医療専門家が研修を受けています。視力ファーストの支援が、大幅にこの地域の眼科医療サービスの範囲の拡大と質の向上につながっています。」

■バヴェル・クヒンカ博士

チャールズ大学 眼科ティーチングホスピタル眼科学科長





パートナーが私たちの財団LCIFを支援

アンセム基金

2015～2016年度LCIFとアンセム基金が全米におけるパートナーシップを開始しました。これは、米国各地で健康改善を促すライオンズ・アンセム基金ヘルシーヒーローを支援するもの。

「自分たちの住んでいるコミュニティをより良いところするために、ライオンズクラブ国際財団、そして国中で奉仕に熱心に取り組むライオンズと力を合わせることを誇らしく思います。」と語るのはアンセム基金理事長のランス・クリスマン氏。

アンセム基金は医療保険会社「アンセム」の慈善部門。その設立以来、アンセム基金は「ヘルシー・ジェネレーション」プログラムをサポートする種々団体に対し、1億6,500万ドル余りの補助金を交付してきました。

このライオンズ・アンセム基金ヘルシーヒーロー・パートナーシップはライオンズ主導の人道支援事業を支援し、機器やインフラ整備のために総額25万ドルを拠出しました。これら事業は2015年末から2016年初めにか

けて開始され、米国から選ばれた都市において健康で活動的なライフスタイルを推進する重要な地域社会事業を支援するものでした。障害者がいっそう自立した生活を営めるようにするため、交付金を使って7件の事業を対象に機器の提供や拡充を実施。この奉仕の受益者は、32,000人と推定されています。

さらに、このパートナーシップの一環として全国で2千人以上のアンセム従業員が立ち上がりライオンズ・アンセムボランティア期間の取り組みを支援。10月の1カ月間にボランティアが奉仕に注いだ時間は1万時間以上でした。ボランティアたちは力を合わせ、植樹、公園・学校・コミュニティセンター・保護施設・地域の診療所等の清掃や改修といった奉仕事業を38件、17の都市で行ったのです。



ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョン・ケアサイト・フォー・キッズを支える職員

2015年11月27日、オーストラリアのナイジェル・ジェニー元地区ガバナーに一本の電話がありました。それは、ニューサウスウェールズ州にあるジョンソン・エンド・ジョンソン・ビジョン・ケア (JJVC) オーストラリア・ニュージーランド事務所に立ち寄りてもらえないかという依頼の電話でした。

「これが普通の挨拶程度のものかスライドのプレゼンテーションなのか、よくわからないまま出かけました。それで行って見てわかったんですが、私たちが合同で行っているサイト・フォー・キッズ・プログラムへの多額の寄付を、アジア太平洋地域担当副会長のホルヘ・ピネド氏とジョンソン・エンド・ジョンソンの現地チームから、LCIFの代表として私に渡すためだったんです。」とジェニー元地区ガバナー。彼らの「プレゼンテーション」とは、13,300豪ドル(約10,000米ドル)の小切手の贈呈(英語のPresentationには「贈呈」という意味がある)のことだったのです。サイト・フォー・キッズを通して一人の子供の検査をするのにはたった25セントしかかかりません。そのため、贈呈されたこの資金は、手広い支援を実現するものです。こうしたサポートのおかげで、サイト・フォー・キッズはウルティモからほぼ9千キロも離れているコルカタの4万人近くの生徒にも役立てられることになります。

長年JJVCオーストラリア・ニュージーランド・チームは、インドの西ベンガル州でサイト・フォー・キッズ・コルカタ・プログラムにそのサポートの大半を注いできました。

サイト・フォー・キッズ・プログラムが2005年に開始して以来、コルカタ周辺の、サービスが十分行き届かない130万人以上の生徒に援助の手を差し伸べ、無料で目の保健について教え、また、視力スクリーニングや、必要に応じて専門医の眼科検査や治療等を行ってきたのです。

世界保健期間の推定によると、矯正されていない屈折異常(URE)も、学齢児童(5歳～15歳)の視覚障害の主な原因です。世界中で屈折異常(近視、遠視、乱視)の全事例の半分は発見も治療もされないまま放置されています。

子供のUREが最もよく見られるのは、思春期という重要な時期で、視力低下が、認知能力、つまり、教育環境はもとより社会環境において学習し、十分に参加し、物事を成し遂げる能力を阻む可能性があります。

アジア、ケニア、トルコの各地で行われている、学校を拠点としたサイト・フォー・キッズの斬新的なプログラムは、教師やボランティアを動員し、目の保健について教えたり、貧しい家庭の子供に質



の高い視力スクリーニングを提供し、専門医に紹介してメガネも含む治療を受けられるようにするものです。2002年以来、サイト・フォー・キッズを通して2,400万人以上の子供たちに援助の手が届いています。これが実現したのも一部にはJJVCの献身的な職員と現在までに提供された350万ドルの交付金のおかげです。この集積的なサポートゆえにサイト・フォー・キッズは、学校を拠点とした目の保健教育、スクリーニング、そして専門医紹介における世界最大の支援プログラムなのです。

「彼らの取り組みは、私たちのパートナーシップの価値と質の高さを実によく示しています。私たちの共同の取り組みが多く大陸を越えて遠く離れた国々に広がり、健康な視力を阻む地域の壁を乗り越えるのに役立っています。」と語るジェニー元地区ガバナー。

LCIFのパートナー

LCIFは、人道支援の精神と人々の暮らしを良くしようという熱意を共有する企業、財団、政府、民間非営利組織と協力することを誇りにしており、これらのパートナーと協力し合うことで、さまざまな資源を共有・活用します。パートナーシップを築くことでLCIFと各地のライオンズクラブはより大きなインパクトをもたらすことが出来るのであり、私たちは力を合わせ、包括的な眼科医療システムを開発し、視覚障害者に自立する力を与え、はしかや風疹が原因の回避可能な死と闘い、災害に対する準備や救援を行い、青少年を支援し、世界中のコミュニティの改善に当たります。

右記のパートナーはLCIFの各種プログラムと事業に対し重要なサポートを提供しています。



BILL & MELINDA
GATES foundation



Johnson & Johnson
Vision Care

NoVo Foundation
create. change.

plusoptix
eye-vision-technology



Welch Allyn

以下の協力パートナーは、LCIFの支援を受けて各地のライオンズクラブと緊密に連携しています。

アルナ・アブヘイ・オズワル・トラスト

カーター・センター

GAVIワクチン・アライアンス

ガーヴァン医療研究所

はしか・風疹イニシアチブ

レクストン(補聴器製造会社)

スペシャルオリンピックス・インターナショナル

国連薬物犯罪事務所(UNODC)

国連児童基金(UNICEF)

世界保健機関(WHO)

世界中のライオンズクラブが地方自治体や国の政府、保健省や教育省、企業、NPO、その他の地域団体や奉仕組織等、数多くの組織団体と提携関係を結んでいます。ローカルでのこうした協力関係は、ライオンズがLCIFの支援を受けて各地域社会で人道奉仕事業を開発・実施していく上で不可欠です。

パートナーからの高い評価

「アンセムでは、アメリカ人の健康づくりに役立つ地域のさまざまな取り組みを支援することに尽くしています。自分たちの住んでいるコミュニティをより良いところにするために、ライオンズクラブ国際財団、そして国中で奉仕に熱心に取り組むライオンズと力を合わせることを誇らしく思います。」

■ランス・クリスマン アンセム基金理事長

「私たちの使命はシンプル。目が見えるよう人々を手助けすることです。私たちが拠点としている三つの都市を含め、これら八つの地域に還元出来ることをとてもうれしく思います。ライオンズクラブとのこのパイロットは、最も困っている人たちにアイケアとメガネへのアクセスを拡大することで私たちの使命を果たしていく素晴らしい機会です。」

■コニー・ヴァヴリチェク

VSP Global コーポレートコミュニケーション担当責任者

「世界の最も貧しい子供たちの健康改善に向けて、惜しみなくたゆまぬ努力をしてくださっているライオンズクラブ国際協会と会員の方々に深く感謝しています。私どもとのパートナーシップは、住んでいるところがどこであろうとすべての子供たちに、一刻も早く必要なワクチンを届けるために役立つはずです。」

■ビル・ゲイツ ビル&メリンダ・ゲイツ財団共同会長兼理事

「児童にはしかワクチンを接種することは、はしかとこの病気がもたらす恐ろしい結末から児童を守るために私たちが出来る最もシンプルな対策の1つです。ライオンズが集める資金と英国がそれに対して提供するマッチング資金によって、数百万人もの児童がより健康で幸せな暮らしを送り、地域社会により貢献できるようになるでしょう。」

■ジャスティン・グリーニング 英国国際開発庁担当国務長官

ありがとうございます ございます

2015~2016年度にLCIFを惜しみなくご支援くださった寄付者の方々に御礼申し上げます。こうしたご支援をいただいたからこそ、LCIFは何百万もの人々の暮らしを豊かにし世界中で違いをもたらしているライオンズを手助けすることが出来たのです。



LCIFは2015~2016年度も変わらぬご支援をしてくださった300-E地区ライオンズに感謝申し上げます。単年度に一つの地区の会員全員からLCIFへの寄付があったのは今回が初めてです。

「当地区全体でLCIFをサポートしています。それはあらゆる地域の人々の暮らしをより良いものにすることが重要であることを我々は確信しているからです。」

■フェイス・ウー
MD 300 台湾 300-E1地区ガバナー

「理事長サークル」は、前年度、LCIFを最も高いレベルでご支援くださった方々を表彰するためのものです。「理事長サークル」のメンバーは、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズの各レベルでたたえられます。「理事長サークル」を継続的に支援していただくことにより、LCIFはその重要な人道支援の取り組みを、末永く続けていくことが出来るのです。

プラチナレベル

US\$100,000 - US\$249,999

Yu-Chuan Chang MD 300 台湾
Wen-Lung Hsiao MD 300 台湾
Hsin-Han Hsu MD 300 台湾
Magnet Lin MD 300 台湾
Aruna Oswal インド
Ting-Yu Ssu MD 300 台湾

ゴールドレベル

US\$50,000 - US\$99,999

Hung-Wei Chang MD 300 台湾
Po-Kuang Chang MD 300 台湾
Ta-Lung Chiang MD 300 台湾
Myung-Soo Ha 韓国
Kang-In Lee 韓国
Yoshinori Nishikawa 日本
Hui-Yi Wu MD 300 台湾
Tomoaki Yamanita 日本

シルバーレベル

US\$25,000 - US\$49,999

Charlie Chan シンガポール
Ling-Hsun Chao MD 300 台湾
Chia-Tien Chen MD 300 台湾
Yi-Tu Cheng MD 300 台湾
Liang-Chin Chiu MD 300 台湾
Soon-Tak Choi 韓国
Ichiro Harita 日本
Chin-Huang Ho MD 300 台湾
Pi-Ying Ho MD 300 台湾
Hsiu-Jung Huang MD 300 台湾
No-Jin Jung 韓国
Shinji Kayamori 日本
Sun-Bong Kim 韓国
Young-Ja Lee 韓国
Chin-Hsiang Mao MD 300 台湾
Emiko Nishimura 日本
Shingo Onodera 日本
Lewis Quinn 米国
Jae-Won Seo 韓国
Mei-Feng Shen MD 300 台湾
Shigeharu Shibuta 日本
Toshio Tanaka 日本
Chi-Tsan Wang MD 300 台湾
Joo-Hwan Yang 韓国
Kuan-Hung Yeh MD 300 台湾

ブロンズレベル

US\$10,000 - US\$24,999

Kazushige Abe 日本
Kazutomi Akiba 日本
Shoichi Anzawa 日本
Tebebe Berhan エチオピア
Sven Berntsen ノルウェー
Jitendra Bhowmik バングラデシュ
Hao-Hsiang Chang MD 300 台湾
Johnny C.C. Chang MD 300 台湾
Kuo-Rong Chang MD 300 台湾
Rui-Tai Chang MD 300 台湾
Yu-Yin Chang MD 300 台湾
Eagle Chao MD 300 台湾
Shui-Chuan Chao MD 300 台湾
Hsien-Neng Chen MD 300 台湾
Hsuan-Min Chen MD 300 台湾

Li-Feng Chen MD 300 台湾
Li-Yun Chen MD 300 台湾
Mei-Chin Chen MD 300 台湾
Jang-Woo Cheon 韓国
Wen-Ching Chi MD 300 台湾
Hao Chiang MD 300 台湾
I-Lang Cho 韓国
Chang-Hwan Choi 韓国
Chang-Mook Choi 韓国
Jung-Yul Choi 韓国
Jung-Chia Carl Chou MD 300 台湾
Li-Hua Chou MD 300 台湾
Chia-Heng Chung MD 300 台湾
Richard Davis 米国
Shunji Enomoto 日本
Kazuhiro Fujii 日本
Lingxin Gao 中国
Gil-Sun Go 韓国
M.A. Hassan バングラデシュ
Mei-Shu Kuo Hsieh MD 300 台湾
Che-Lun Hsu MD 300 台湾
Denny Hsu MD 300 台湾
Kun-Hai Hsu MD 300 台湾
Shiu-Chih Hsu MD 300 台湾
Ming-Te Hu MD 300 台湾
Hsi-Feng Huang MD 300 台湾
Hsiu-Tzu Huang MD 300 台湾
Mei-Li Huang MD 300 台湾
Ming-Tsung Huang MD 300 台湾
Tzong Huang MD 300 台湾
Jin-Chang Hwang MD 300 台湾
Kazuo Iwasaki 日本
Michael Jan MD 300 台湾
Martin Jetter ドイツ
Chun-Mo Kang MD 300 台湾
Myung-Young Kang 韓国
Yoon-Sung Kang 韓国
Teruaki Kashiwazaki 日本
Suketaro Kato 日本
Hideyuki Kayamori 日本
Bong-Gee Kim 韓国
Hong-Ho Kim 韓国
Jong-Seok Kim 韓国
Sang-Chul Kim 韓国
Sun-Ho Kim 韓国
Hideki Kitahata 日本
Kentaro Kitano 日本
Masatake Koyama 日本
Tien-Li Kuo MD 300 台湾
Yung-Yu Kuo MD 300 台湾
Oh-Hung Kwon 韓国
Chuen Lee MD 300 台湾
Hak-Choon Lee 韓国
Hung-Ying Lee MD 300 台湾
In-Soo Lee 韓国
Joo-Sub Lee 韓国
Mu-Deok Lee 韓国
Soon-Gil Lee 韓国
Tsai-Chiu Lee MD 300 台湾
Tsai-Yuan Lee MD 300 台湾
Ping Li 中国
Chun-Te Liang MD 300 台湾
Fang-Ching Liao MD 300 台湾
Hsiu-Lien Liao MD 300 台湾

Che-Hung Lin MD 300 台湾
Hsi-Chien Lin MD 300 台湾
Kuo-Jung Lin MD 300 台湾
Su-Chu Lin MD 300 台湾
Tang-Lai Lin MD 300 台湾
Tien Sheng Lin MD 300 台湾
Ching-Yuan Liu MD 300 台湾
Somsakdi Lovisuth タイ
Wan-Hsuan Lu MD 300 台湾
Shyam Malpani インド
Sunita Malpani インド
Jesus Mata 米国
Isao Matsuoka 日本
Rohit Mehta インド
Harumasa Mihara 日本
Yoshio Mizobuchi 日本
J. Frank Moore III 米国
M. Nagarajan インド
Yoshiko Nakamura 日本
Nobuo Nishiki 日本
Yasutaka Noka 日本
Sakiko Odaka 日本
In-Kyo Oh 韓国
Akira Okamoto 日本
Hiroji Okumura 日本
Masaaki Oomori 日本
Chin-Shih Ou MD 300 台湾
Chun-Ming Pan MD 300 台湾
Bong-Eun Park 韓国
In-Sun Park 韓国
Gerry Robbins 米国
Koichi Sakurai 日本
Yoshiyuki Sato 日本
Yoshio Satoh 日本
Chen-Fu Sun MD 300 台湾
Chikao Suzuki 日本
Noboru Takahashi 日本
Toshio Takai 日本
Noriyuki Takano 日本
Yuichi Tanaka 日本
Ming-Chin Tang MD 300 台湾
Marthyn Ting シンガポール
Yi-Chang Tsai MD 300 台湾
Yao-Ling Tso MD 300 台湾
Koji Tsurushima 日本
Jui-Yang Tung MD 300 台湾
Elmer Wang MD 300 台湾
Ching-Chuan Wu MD 300 台湾
Haruo Yamada 日本
Kishima Yamamoto 日本
Seiki Yamaura 日本
Fu-Yu Yang MD 300 台湾
Shu-Hui Yang MD 300 台湾
Tsan-Hwang Yang MD 300 台湾
Tsun-Han Yang MD 300 台湾
Nobuo Yasaka 日本
Katsuyuki Yasui 日本
Yoshikazu Yonezawa 日本
Jun-Ho Yoon 韓国
Sung-Chul Yoon 韓国
Huei-Mine Yu MD 300 台湾
Shih-I Yu MD 300 台湾
Xiaoyan Zhuang 中国

寄付総額上位10地区

国、地区	寄付額(米ドル)
日本 334-A	\$1,264,445
韓国 354-D地区	\$1,001,878
MD300 台湾 300-E1地区	\$905,092
MD300 台湾 300-A2地区	\$852,000
MD300 台湾 300-G2地区	\$828,660
MD300 台湾 300-B2地区	\$796,451
MD300 台湾 300-F地区	\$739,691
MD300 台湾 300-C2地区	\$724,033
MD300 台湾 300-B1地区	\$700,758
MD300 台湾 300-G1地区	\$667,083

会員一人当たりの平均寄付額上位10地区

国、地区	会員一人当たりの 平均寄付額 (米ドル)
MD 300 台湾 300-E1地区	\$431
MD 300 台湾 300-B2地区	\$365
MD 300 台湾 300-F地区	\$292
MD 300 台湾 300-G1地区	\$258
MD 300 台湾 300-B1地区	\$229
MD 300 台湾 300-A2地区	\$221
MD 300 台湾 300-D1地区	\$221
日本 334-A地区	\$183
韓国 354-D地区	\$173
MD 300 台湾 300-A1地区	\$170

寄付増加率上位10地区*

国、地区	増加率%
中国 382地区	3,002%
インド 323-J地区	1,695%
エクアドル G-1地区	1,373%
ホンジュラス D-6地区	1,261%
エクアドル G-2地区	931%
バングラデシュ 315-A2地区	919%
ボリビア S-2地区	842%
インド 321-C2地区	800%
スイス 102-E地区	658%
イタリア 108-IB2地区	548%

*2014-2015年度および2015-2016年度に
最低1,000ドルの寄付

奉仕を通じていっそう多くの人々の暮らしを変えられます。

LCIFへの寄付は1ドル残らず、この奉仕の世界にプラスの影響を与えます。LCIFを支援していただくことで、暮らしを変える手助けが出来ます。www.lcif.org/donateでご寄付いただけます。



財政責任をもって奉仕

一般援助交付金は、ライオンズが、教育、テクノロジー、ヘルスケアへのアクセスを提供する大規模な事業を通じ、満たされていない人道的なニーズに対応することにより、地域社会を助けられるようにするものです。

四大交付金は、視力保護、障害者援助、健康促進、青少年奉仕といった四つの中核的な奉仕プログラム分野のうちの一つに当てはまる大規模な既定事業を支援するものです。これらの分野には、糖尿病の予防と治療、スペシャルオリンピックス、ライオンズクエストがあります。

視力ファースト交付金は、医療の不十分な地域社会における眼科医療提供、インフラ開発、人材育成、および/またはリハビリ・教育提供をもたらす質の高い持続可能な事業をサポートするものです。主な取り組みは、白内障、河川盲目症、トラコーマ、未矯正の屈折異常、そして糖尿病性眼病などです。

災害援助交付金は、災害援助活動を支援するライオンズを手助けするものです。こうした交付金は、防災準備、緊急援助、大災害援助、地域復興用に利用できます。

用途指定資金を通じて提供される交付金は、LCIFの中核プログラムに当てはまる特定の奉仕事業に向けて用途が制限されている寄付金を指します。このような資金は指定された目的のためにのみ活用可能です。

その他の交付金としては国際援助交付金(IAG)があります。これは、先進国のライオンズクラブと開発途上地域のライオンズクラブが提携し、地域社会を大きく変える事業に取り組めるようにするものです。

2015～2016年度LCIF執行委員会

前列、左より:

ボブ・コーリュー 第一副会長

ジョー・プレストン LCIF理事長・前国際会長

山田實紘 国際会長

ナレッシュ・アガワル 第二副会長

後列、左より:

ウィンケン・タム 理事会アポインティ・元国際会長

バリー・パーマー 副理事長・元国際会長

マノー・シャー 理事会アポインティ・元国際理事

写真には載っていないその他のメンバー:

栢森新治 幹事・元国際理事

チンリー・リー 会計・元国際理事



ライオンズクラブ国際財団
財務状況報告書
至6月30日

資産	2016年度	2015年度
現金および現金同等物	\$10,279,136	\$9,882,749
未収投資収益	327,519	263,041
未収金、正味	73,956	15,644
米国外ライオンズ地区からの未収金	440,932	386,755
ライオンズクラブ国際協会からの未収金	1,226,201	1,043,059
前払費用	332,327	273,351
棚卸資産、 2016年度\$100,000および 2015年度\$89,000の正味引当金	624,237	511,034
投資	290,832,184	302,132,608
有形固定資産(減価償却後)	450,801	446,362
資産合計	\$304,587,293	\$314,954,603
負債および純資産		
未払金	\$116,455	\$163,301
未払費用	242,731	242,904
未払交付金	34,485,144	31,529,751
慈善寄付年金	176,030	207,291
負債合計	35,020,360	32,143,247
純資産		
用途無指定	195,708,695	193,037,273
用途一時指定	73,358,238	89,274,083
用途永久指定	500,000	500,000
純資産合計	269,566,933	282,811,356
負債合計および 純資産	\$304,587,293	\$314,954,603

ライオンズクラブ国際財団
キャッシュフロー計算書
至6月30日

	2016年度	2015年度
運営活動からのキャッシュフロー	\$(13,244,423)	\$(5,911,238)
純資産の変動額		
純資産の変動額と運営活動による 純現金収支を整合させるための調整		
減価償却費	82,894	47,487
純実現および未実現		
投資損失(利益)	1,108,722	(4,219,214)
運用資産および負債の変動額		
未収投資収益	(64,478)	136,414
受取勘定	(58,312)	14,693
米国外ライオンズ地区からの 未収金	(54,177)	(25,523)
ライオンズクラブ国際協会からの 未収金	(183,142)	(862,158)
前払費用	(58,976)	(37,555)
棚卸資産	(113,203)	(113,251)
未払金および未払費用	(47,019)	(21,933)
未払交付金	2,955,393	3,232,808
慈善寄付年金	(31,261)	(9,177)
運営活動による純現金収支	(9,707,982)	(7,768,647)
投資活動からのキャッシュフロー		
投資購入	(68,935,763)	(191,190,913)
投資売却による収益	79,127,465	195,874,979
有形固定資産購入	(87,333)	(92,909)
有形固定資産売却による収益	—	1,580
投資活動による純現金収支	10,104,369	4,592,737
現金および現金同等物の変動額	396,387	(3,175,910)
期首の現金および現金同等物	9,882,749	13,058,659
期末の現金および現金同等物	\$10,279,136	\$9,882,749

All figures in US\$

ライオンズクラブ国際財団
活動報告書
自2015年7月1日至2016年6月30日

	用途無指定	用途一時指定	用途永久指定	合計
寄付、収益およびその他の寄付金				
寄付	\$24,287,230	\$15,196,963	—	\$39,484,193
慈善寄付年金の変動額	420	—	—	420
プログラム純収入	303,019	—	—	303,019
投資純収入	3,676,175	1,161	—	3,677,336
為替純損失	(299,250)	—	—	(299,250)
雑収入	20,228	—	—	20,228
用途指定条件が解除された純資産	31,113,969	(31,113,969)	—	—
寄付、収益およびその他の寄付金 合計	59,101,791	(15,915,845)	—	43,185,946
経費				
プログラム支出				
交付金	42,221,841	—	—	42,221,841
視力ファースト	2,261,848	—	—	2,261,848
ライオンズクエスト	1,791,711	—	—	1,791,711
その他	1,402,831	—	—	1,402,831
運営	4,179,536	—	—	4,179,536
開発	4,572,602	—	—	4,572,602
経費合計	56,430,369	—	—	56,430,369
純資産の変動額	2,671,422	(15,915,845)	—	(15,915,845)
期首純資産	193,037,273	89,274,083	500,000	282,811,356
期末純資産	\$195,708,695	\$73,358,238	\$500,000	\$269,566,933

All figures in US\$



Lions Clubs International
FOUNDATION

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)
300 W. 22nd Street
Oak Brook, IL 60523-8842 USA
電話: 630.571.5466
FAX: 630.571.5735
www.lcif.org

編集: カサンドラ・ロトロ
デザイン: ベニー・バーベル

LCIF30JA 2016

裏表紙:
地域の子供たちの保健のために
取り組むガーナの
アクラ・アルティメット・ライオンズクラブ。